

避難困難区域での 地区防災計画への取り組み

上釜町内会 (宮城県石巻市)



2016年3月12日
上釜町内会自主防災会

上釜地区の概要

- ・津波避難には運河に架かる3本の橋を渡り、内陸への遠方避難又は、2階以上への垂直避難となる。
- ・地区内に避難所はなく、指定避難時所まで距離がある。

- ・地区人口 震災前 約1,300世帯 3,200名
現在 約 550世帯 1,300名
- ・東日本大震災時、地区内は全て約3mの浸水域
- ・海、川、運河の3方向を水域に囲まれ、高台がない避難困難区域に指定されている
- ・地区内に避難道路、高盛り土道路が計画されている



避難計画作成までの道のり

127名参加



防災本部の図上訓練

★地図の見方に困惑する場面も。
様々な事象への対応を模索しあった。



上釜ふれあい広場での避難訓練

★石巻サッカー協会と連携した児童の避難訓練を実施
(スポ小を中心に年間約4万人以上が利用している)



地域の問題点を話し合ったワークショップ

★合計6回のワークショップを開催。
迅速な避難や、要援護者への対応などの協議を重ねた



グループディスカッション



車イスでの模擬避難訓練



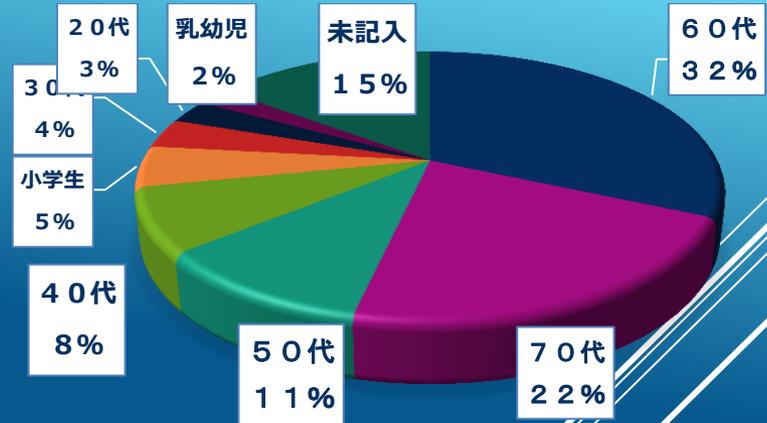
避難者名簿に記入



- ・訓練参加195名、地区人口に約15%
市内参加率7.3%よりは高いが、実際の被害を考えると、まだまだ低い。
- ・町内でも参加率に差がある。
- ・若い世代の参加率向上が課題
- ・要援護者リストに基づいた協力者づくりが急務



11月15日 避難訓練・総合訓練実施



年代別参加率

【避難訓練】

- ・町内3ヶ所の避難集合場所への避難訓練

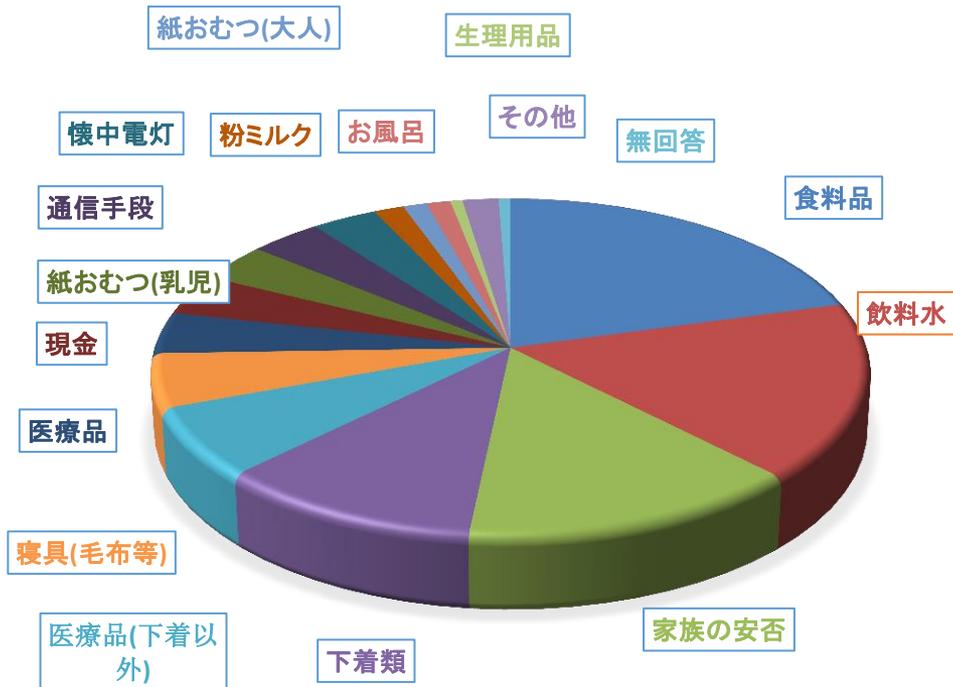
【総合訓練】

- ・炊出し訓練
- ・応急手当訓練
- ・初期消火訓練
- ・119番通報講話
- ・災害伝言ダイヤル「171」の啓発
- ・災害情報メール配信サービス手続き
- ・住民アンケート
- ・電気自動車の展示
- ・大塚製菓様ブース

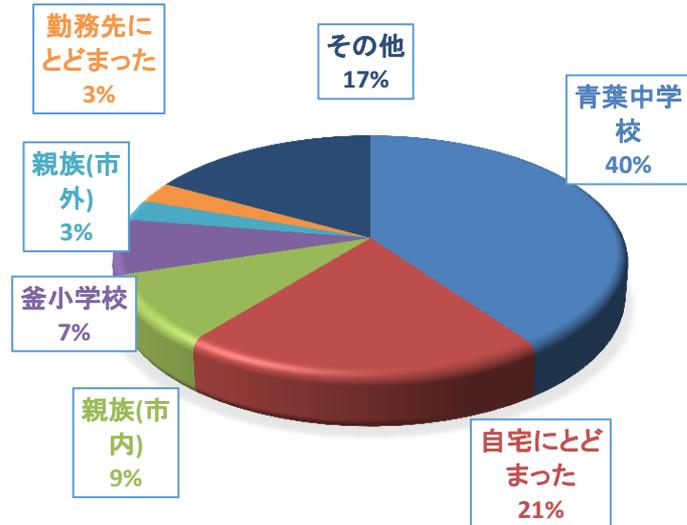


東日本大震災、その時あなたは？

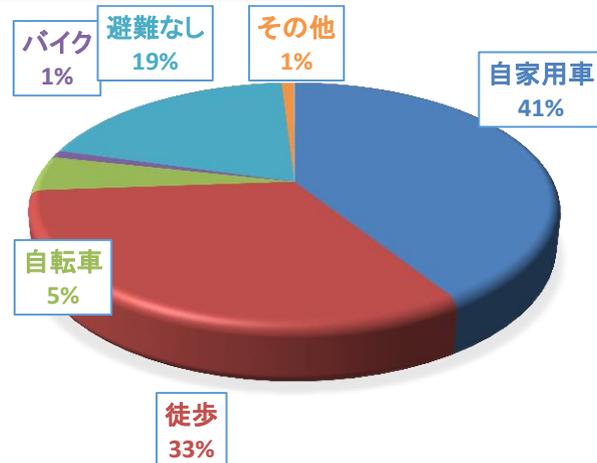
大震災時、一番困った事は？ (重複回答)



どこへ避難しましたか？



何で避難しましたか？



震災後に行った意識調査(抜粋)

これまでの取り組み

* 石巻市は、津波避難について全市的防災計画だけでなく、市民が円滑に避難行動を行う為の、地域毎の避難計画を作成予定

- 上釜地区は2014年度石巻市の上記モデル地区として、「地域版津波避難計画」の作成をスタート
- 市の主導により「上釜地区の津波避難アクションプラン」作成済
- 2015年4月、上釜町内会では自主防災会を結成。
- 防災計画を作成

上釜地区の津波避難アクションプラン

1 原則

- 地震や津波の危険性を軽視しない
- 事前に避難のルールを決めておく
- 北上運河の内陸へ避難する事を徹底する
- 避難方法は徒歩避難とする

2 具体的な避難方法

- 時間帯ごとの避難方法を決めておく

3 避難場所・経路の選定

- 避難経路や手段を把握しておく
- 避難可能な場所を事前に把握しておく
- 緊急時の避難場所として、建設計画中の災害公営住宅を活用するための体制を整える
- 居住エリアごとに事前に避難経路を確認しておく
- 避難場所への最短経路を事前に把握しておく

4 情報収集

- 自ら情報を収集するという意識を高める

5 車避難（原則徒歩避難）

- 車避難の場合の「駐車ルール」を定める
- 車避難が可能な避難経路をあらかじめ、把握しておく

6 避難行動要支援者の対策

- 避難行動要支援者用（高齢者、障がい者等）の避難を支援する体制（呼び掛け、車の限定的利用等）を整える
- 避難行動要支援者を支援する人の行動時間（制限時間）を定める
- 普段から地域での声掛け・付き合い等を密にする
- 避難行動要支援者の所在を地域で共有する
- 地域の主要な人物で避難行動要支援者の情報を共有する
- 避難行動要支援者用に折り畳みリヤカー等を配備する

7 安否確認

- 子どもの引渡しルールを事前に定める
- 子どもの安否確認のために落ち合う場所を事前に定める

8 訓練

- 実際の避難経路に即した訓練を実施する
- 避難場所を分散させた訓練を実施する
- 避難行動要支援者に係る支援体制の訓練を実施する

9 その他

- 必要なものはキャリーバックに詰めておく
- 持ち出し品（貴重品等）を予め決めておく

2015年度内閣府地区防災計画 モデル事業としての取り組み

- * 2015年度、計6回、自主防災組織とアドバイザーとの間で打合せ会合、ワークショップならびに訓練実施
 1. 7/20 : キックオフミーティング
 2. 8/ 4 : 役員と今後の進め方相談
 3. 9/ 1 : ワークショップ(防災訓練準備、要援護者対応の検討)
 4. 11/5 : ワークショップ(防災訓練準備、要援護者対応の検討)
 - * 「上釜町内会要援護者一覧表」(部外秘)を作成
 - * 一覧表をもとに、班別のグループに分かれ、要援護者を支援するための具体的方策を検討
 - * 11/5には、総合防災訓練の手順、役割分担を確認
 5. 11/15 : 避難訓練・総合防災訓練を実施
 6. 11/26 : 防災訓練の検証

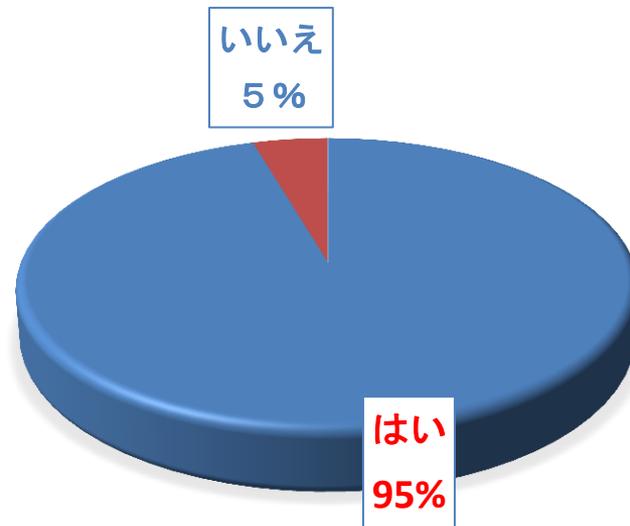
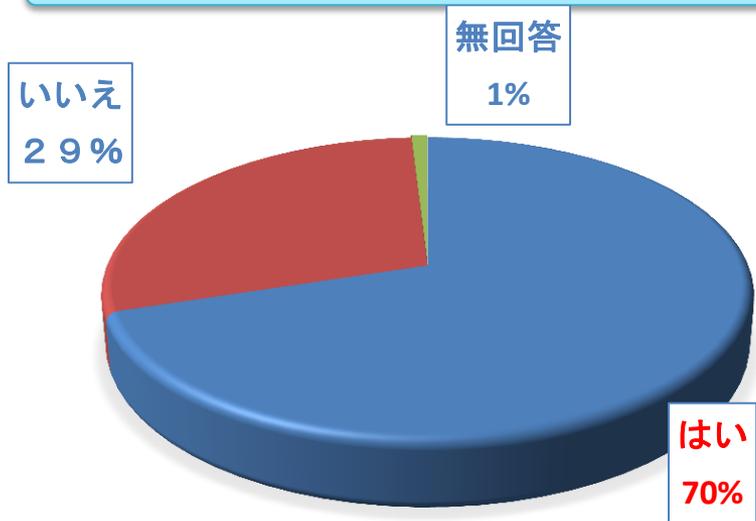
※自主防災会独自実施

※7月12日 図上訓練(防災本部、非常招集訓練実施)

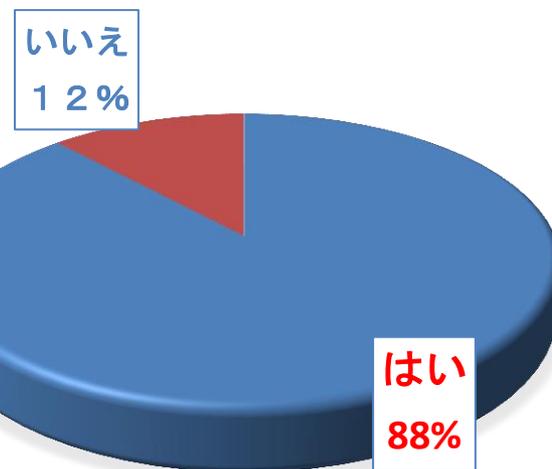
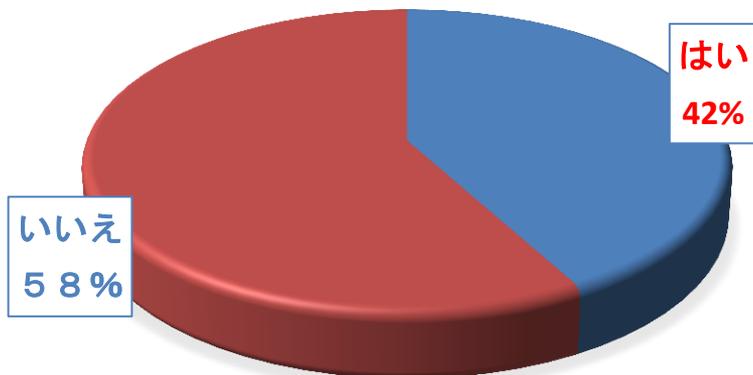
※9月19日 上釜ふれあい広場の避難訓練(石巻サッカー協会と連携)

大震災前後での意識変化

指定避難場所を知っていましたか?



食糧や飲料水を備蓄していますか?



大震災前

大震災後

今後の課題

- 要配慮者対策等で実効性のある組織体制の確立
(防災会役員＋防災協力員)
- 避難経路の周知と避難時間の短縮(避難路マップの全世帯配布)
- 地区内で3階以上の建物への避難(垂直避難)を可能にするための防災協定締結
- 防災倉庫、資機材等の整備⇒費用負担が懸案事項
- 今秋、地区内に完成予定の復興公営住宅(122世帯)新住民の皆様への対応⇒地区紹介冊子の作成を準備中
(上釜の歴史、地名の由来、震災の記録、町内会活動、将来展望など)

この避難路マップは住環境
の変化に伴い更新されます

上釜避難路マップ

保存版

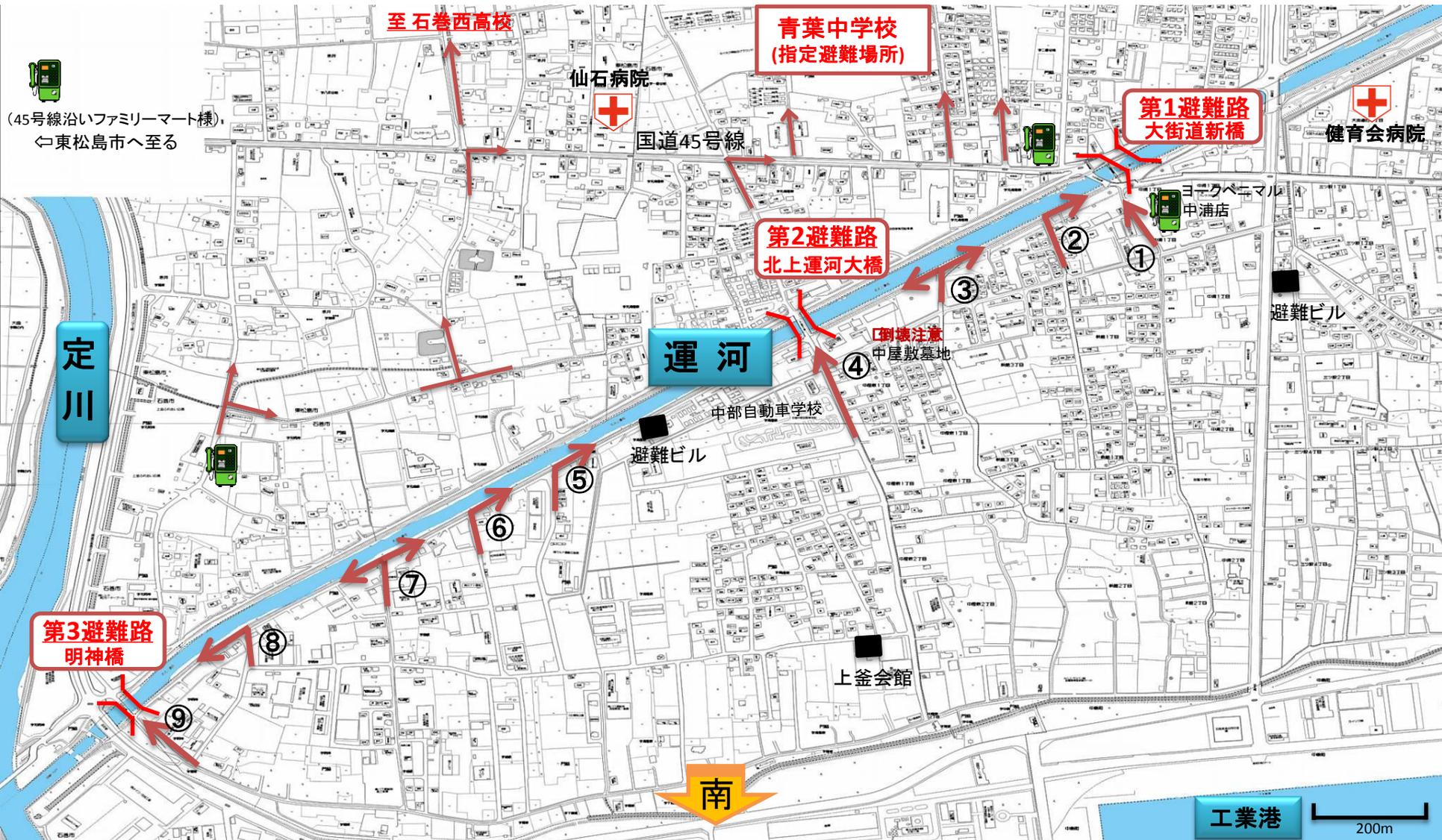
上釜町内会自主防災会

H28.1月現在

- ・第1避難路(大街道新橋)
- ・第2避難路(北上運河大橋)
- ・第3避難路(明神橋)

各橋を渡るための堤防登り口は9ヶ所 --->

私の自宅から一番近い堤防への登り口は 番





津波襲来時の住宅地域 一階が完全に水没した

